

第2回小金井市住宅マスタープラン策定委員会 意見対応シート

No	資料	ご意見	対応	意見受領日	対応日	発言者
1	資料2	子供連れの家族、高齢夫婦・単身世帯の転入の状況はどうなっているか	資料がないため、確認のうえ提出する。	11月9日	11月9日	金子副委員長
			年齢別に転入転出動向をみると、20代で大きく転入超過し、30代前半で大きく転出超過となっている。また、転入・転出の総数は少ないが、55歳以上でも転出超過となっている。(別添資料①)		3/22 説明予定	
2	資料2	若年層の居住期間はどの程度であるか。	資料がないため、確認のうえ提出する。	11月9日	11月9日	金子副委員長
			年齢別に市民の居住年数をみると、18歳以上30歳未満及び30歳代では居住して5年未満が半数を超えているが、40歳代以降で定住する傾向にある。(別添資料②)		3/22 説明予定	
3	資料2	高齢者にとっては、住みやすいからという理由だけでなく、転居しづらいという面から仕方なく居住し続けている場合もあるのではないか。	資料がないため、確認のうえ提出する。	11月9日	11月9日	金子副委員長
			市民意向調査では、定住理由として、世代に関わらず特に自然環境の良さや日常的な利便性が重視されている。また、65歳以上では、「公共交通機関の利用が便利だから」「日常の買い物の利便性が良いから」について、全体より更に回答が多くなっているほか、「病院等の医療施設の利用が便利だから」は全体より10ポイント以上高くなっている。(別添資料③)		3/22 説明予定	
4	資料2	民間の貸家でのバリアフリーに対する対応が課題であると感じている。	賃貸住宅所有者意向調査による、所有者のバリアフリー化の意向などを踏まえて検討する。	11月9日	11月9日	石塚委員
5	資料2	現在住宅のバリアフリー化の補助などは行っているか。	住宅改修について、一定の対応は行っている。	11月9日	11月9日	柳井委員
6	資料2	小金井市から他市へ転居している世代がわかるとよい。	資料がないため、確認のうえ提出する。	11月9日	11月9日	柳井委員
			年齢別に転入転出動向をみると、平成30年では、30代前半で112人と最も大きく転出超過となっており、60～64歳でも57人の転出超過となっている。また、平成26年、平成27年は0～4歳も大きく転出超過となっている。(別添資料①)		3/22 説明予定	
7	資料2	バリアフリーについては、自身の住宅に対しての補助が出る状況だと思うが、まちづくりの観点から、店舗で活用できるバリアフリーの設備などを、地域でシェアできる仕組みがあるとよい。	まち全体の施策については、住宅マスタープランとは別の視点での施策となる場合もあるため、詳細なご要望を踏まえ検討する。	11月9日	11月9日	柳井委員
8	資料2	近年は分譲マンション、戸建住宅がそれぞれ増えている印象があるので、逆に住居を購入するために転出している事例もあるのではないか。それに伴い、持家と賃貸両面から施策を検討するべきではないか。	ご指摘の根拠を示す資料があるか検討する。また、近居なども住みやすさにつながることから、近居を支援する施策などに落とし込めるか検討する。	11月9日	11月9日	土屋委員
			住宅購入時の意向調査などは実施しておらず、データはなかった。		3/22 説明予定	
9	資料2	分譲マンションを購入した場合でも、投資目的であったり、賃貸として運用しているなど、必ずしも居住していないと感じているが、購入者自身が分譲マンションに居住している割合などを示すデータは持っているか。賃貸として居住していると管理組合に入らないため、マンションの管理に課題が見られる場合がある。	—	11月9日	11月9日	千葉委員
			ご指摘のデータは保有しておらず、確認は難しい		3/22 説明予定	

第2回小金井市住宅マスタープラン策定委員会 意見対応シート

No	資料	ご意見	対応	意見受領日	対応日	発言者
10	資料2	市内の高齢者世帯の中には、近隣に買い物する施設がなく、駅前の商業施設までバスやタクシーにより買物をしている事例がある。小さな商店を営んでいる人への支援を充実してほしい。	住宅マスタープランの施策として反映できるのか、それとも意見として各課で持ち帰って参考にして各課で対応するという形になるか、そこまでは具体的なお話ができないが、庁内検討委員会でこういった意見が出たと報告する。	11月9日	11月9日	森田委員
11	資料2	関係各課や町会の連携を進めてほしい。	庁内の連携については、高齢者住宅の運営、ブロック塀の対策など、個々の案件では連携をしている。また、住宅マスタープラン策定の中で庁内委員会を開催しており、対応できる内容について庁内全体で検討を進めていく。	11月9日	11月9日	森田委員
12	資料2	武蔵小金井駅前にタワーマンションが増えていることなどから、まちのイメージが変わっており、人口の移動に影響を与えているのではないかと。また、既存の戸建て住宅もマンション化し、それに伴い家賃相場が上がるのではないかと。	小金井市は6割以上が第一種低層住居地域であり、駅前を総合拠点として、周辺の地域は住環境を守るという大きな考え方は都市計画マスタープランの中で示されている。	11月9日	11月9日	金子副委員長
13	資料2	小金井市においても、身近な買い物施設が減ることで、買い物難民層もでてくるのではないかと。	都市計画マスタープランにも住宅マスタープランにも関わってくるところなので、考えとしては低層住居地域の中で商店街が無くなっていく、施設が無くなっていき、不便地域化することのないように、ということも市の課題として考えている。	11月9日	11月9日	金子副委員長
14	資料2	高齢者のための移動販売や身近な地域の商業拠点などへの支援が出来るかよい。	市内の商業については主担当課が異なるため、住宅マスタープランでの掲載が難しいが、関係各課と情報共有を図る。	11月9日	11月9日	森田委員
15	資料2	古い分譲マンションについて、どの程度あるかの資料がない。都で届出制度を実施しており、結果が少しずつ出ており、耐震性がない、診断をしていないマンションも多いという傾向が出てきている。	データの整理をさせて頂いて正確なものを出したいと思う。 古い分譲マンションの状況について、資料を作成した。（別添資料④）	11月9日	11月9日 3/22 説明予定	尾關委員
16	資料2	p24の「分譲住宅」には戸建も含まれているのか。宅地分譲がどの程度行われているかは分かるか。	データがあるかどうか確認する。 計画書案p42「利用関係別新設着工住宅の推移」について、分譲住宅を「分譲住宅（一戸建）」と「分譲住宅（共同住宅・長屋建）」に分けて記載した。分譲住宅（一戸建）は近年300～400戸/年程度で推移している。	11月9日	11月9日 3/22 説明予定	尾關委員
17	資料2	都では生産緑地の保全を進めているが、市における緑地の宅地化への対応はどのように考えているか。また検討するうえで、市内に緑地はどの程度あるか把握できるとよい。	他課の計画の数字になるので、出せるものか調整させていただく。 緑被面積及び緑被率は宅地化等の影響により減少傾向にある。（別添資料⑤）	11月9日	11月9日 3/22 説明予定	尾關委員

第 2 回小金井市住宅マスタープラン策定委員会 意見対応シート

No	資料	ご意見	対応	意見受領日	対応日	発言者
18	資料 3	p5問11（住まいの満足度）について、近隣市と比較することはできるか	他市の状況など確認させていただく。	11月9日	11月9日	千葉委員
			他市のアンケート結果による住まいの満足度と比較すると、府中市とは同程度の満足度となっている。調布市よりは高くなっている。（別添資料⑥） ※問題文、選択肢、実施時点が異なるため、単純に比較することは出来ない		3/22 説明予定	
19	資料 3	p12問22（住み続ける際に重視する点）について、年齢別に傾向を示すことはできるか。	クロス分析をしたものを改めて提出する。	11月9日	11月9日	石塚委員
			住み続ける際に重視する点について、年齢別に集計すると、18歳～39歳では、「通勤・通学の利便性が良いこと」が最も多くなっている。 65歳以上では、「病院等の医療施設の利用が便利なこと」「福祉・介護サービスが充実していること」「高齢者や障がいのある人が安心して暮らせること」が高くなっている。（別添資料⑦）		3/22 説明予定	
20	資料 3	問11、14（住まい・住環境の満足度）について、不満を感じている人の理由をみることはできるか。	質問の中で不満の理由などを設問で取っていないため、直結するような分析は出来ないかと思う。自由記述欄の中につながるようなものがあれば抜粋する。	11月9日	11月9日	柳井委員
			不満と回答した方の自由記述を確認すると、住まいに関連しては、居住費やバリアフリー、住宅の老朽化に関する意見が挙げられていた。住環境に関しては、多様な観点からの意見が挙げられていた。（別添資料⑧）		3/22 説明予定	
21	資料 3	クロス集計を行うにあたって、一つ一つの項目の総数が少なくならないように注意すべきである。	ご指摘頂いたように気を付けて見ていこうと思う。	11月9日	11月9日	金子副委員長
			クロス集計の項目の設定方法については、各項目の総数が一定数確保できるよう留意して示すよう修正した。		3/22 説明予定	
22	資料 3	公営住宅居住者の「このまま住みたい」の割合が高いが、公営住宅の家賃の相場はどの程度か。	市営・都営住宅の家賃については、低所得者向けに居住のための補助を出しているため、一般の住宅より安く設定されている。 資料 2 p26に所有関係別の1畳当たり家賃が示されている。	11月9日	11月9日	金子副委員長
23	資料 3	p15問25の項目である「化学物質などによる健康被害を防ぐ住宅の普及」に関連して、電波塔などの設置にあたっての近隣住民との合意形成などが出来るとよい。	建築規制のような話になってしまうと住宅マスタープランの中で実施していくのは少し難しいが、そういったご意見があったということで、庁内でも共有させて頂く。	11月9日	11月9日	柳井委員
			5Gのアンテナの設置等の申請は、東京都で行っているため、市の住宅マスタープランには掲載は難しい。		3/22 説明予定	
24	資料 4	自分たちで出来る取組みとしても、地域のボランティア活動などがでてくるが、市や社会福祉協議会などどのように連携していくかが重要であると考えている。 また、町会への加入率が下がっているなかで、どのような具体的な取組みを示すことができるかが重要であると考えている。	地域コミュニティに関する取組みについては、現行計画の評価でも概ね「実施中」となっているが、より施策内容を深掘りすることができるかなど、施策を検討する段階で改めてご意見を頂きたい。	11月9日	11月9日	石塚委員
25	資料 4	地域ボランティアがどのような場所で実施しているかは把握しているか。	詳細に把握できていないので、委員からの話を伺うなどして把握していく。	11月9日	11月9日	宇於崎委員長
26	資料 4	ワークショップでは障がい者の方の生の意見も把握することが出来た。一人一人の意見を反映し、障がいを持つ方などだれもが共に暮らしやすい社会を目指せるとよい。 府中市では小金井市と比べ、だれもがまちなかで過ごす様子が感じられる。	障がい者への基本的な支援内容については、自立生活支援課に聞いたところ府中市と小金井市で大きな差は無いと思われるとの回答を得た。まちなかに障がい者が多い理由については、引き続き調査していく。	11月9日	11月9日	柳井委員

第 2 回小金井市住宅マスタープラン策定委員会 意見対応シート

No	資料	ご意見	対応	意見受領日	対応日	発言者
27	資料 4	ワークショップについて、企画段階から、若い方や障がい者にも加わってもらい、内容を検討できるとよいのではないかと。	－ 内容を判断のうえ、今後の検討事項とする。	11月9日	11月9日 3/22 説明予定	森田委員
28	その他	ごみ屋敷の状況はどの程度把握しており、どのように対応しているか。	空き家については、空家等実態調査を実施し、状態の悪い空き家等を把握しており、特定空家等への対応として検討している。 ごみ屋敷と呼ばれる建物については、ゴミが多くとも人が住んでいることもあり、空家法に基づいての対策からは除外したケースもある。その場合、ゴミ対策課、地域安全課に苦情という形で情報を共有し、家から出ているゴミなどは指導をしている。	11月9日	11月9日	金子副委員長
29	その他	ゴミ屋敷に関する条例はあるか。	そのような条例は、現時点では無い	11月9日	11月9日	金子副委員長
30	その他	居住支援協議会は小金井市には無いのか。これから作っていく方向性はあるのか。	現時点では設立されていない。セーフティネット住宅の登録が小金井市内に無い状況にあり、どのように登録を促進するかを検討している。また、居住支援協議会として立ち上げるか検討中である。 居住支援会議を開き庁内で情報交換をする場を設けることを昨年度から実施している。	11月9日	11月9日	柳井委員
31	その他	賃貸住宅所有者意向調査はいつ頃結果が出るか。	現在集計中で、10月末までで締めた。集計作業次第でお出しする。 第 3 回の資料として提供した。	11月9日	11月9日 3/22 説明予定	宇於崎委員長
32	その他	何票程度回収することができたか。	正確な数値を集計していないため、件数については改めて報告する。 2 2 1 件を回収することができた。(配布数：289件、回収率：76.5%)	11月9日	11月9日 3/22 説明予定	宇於崎委員長